

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 各務原高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月26日(水) 10:00~12:00
- 3 開催場所 各務原高等学校 会議室
会議に先立ち、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	長倉 守	岐阜大学大学院教育学研究科准教授
副会長	小川 陽子	新生こどもえん園長
委 員	丹羽 文雄	各務原市立中央中学校長
	古田 希雄	各務原市 市長公室 次長
	堀 善子	各務原市 市民生活部 税務課長
	鈴木美恵子	本校PTA副会長
学 校 側	野々山伸一	校長
	堀 卓也	教頭
	杉山 秀謙	教頭
	武藤小百合	事務長
	美濃輪智彦	教務主任
	橋本 純	生徒指導主事
	水野 里美	進路指導主事
	小野木 隆	特別活動部長
	片桐 豊	渉外部長
	武藤 俊平	研修主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 本校の授業について(授業参観を踏まえて)

意見1: 数年間見てきた中で、今年度が最も落ち着いて学びに向かっているが、生徒が声を発する機会が少ないように感じた。

意見2: 寝ている生徒は少なかったが、受け身の生徒が多く、家庭での学習が少ないと感じる生徒もいた。主体的、対話的で深い学びという点でさらに上を目指してほしい。

意見3: 落ち着いた雰囲気で行われていた。その授業の目標やねらいが示されているのは、生徒が取り組みやすく非常によい。

(2) 令和6年度「教育指導の重点及び学校経営計画」について

意見1: 本校の校訓である「開拓者精神~創造・挑戦・協同~」を大事にしてほしい。

意見 2 : スクールポリシーを教育活動の中心に置き、その中のワードを各分掌の方針等に盛り込み、教育活動の軸とする。スクールポリシーを形骸化させないように、教職員だけでなく、生徒にも投げかけ、学校生活の真ん中において生活してほしい。

意見 3 : 学校案内パンフレットはスクールカラーの「紫紺」をベースに作成されており、とてもよい。

意見 4 : 18歳成人に伴って起きている消費者トラブルについては、市としても対策に取り組んでいる。必要に応じて活用いただきたい。

意見 5 : 形にとらわれることなく、何事にもまずは取り組んでみる、挑戦する心を大切にさせながら学校づくりを進めてほしい。

(3) 各分掌の「方針と重点」について

意見 1 : 中学校でもペアワークやグループ活動を取り入れているため、生徒たちはすぐに対応できるはず。もっと対話を大切に活動があってもよい。

意見 2 : これからは個に応じた指導が求められる。基礎学力の部分についても二極化が激しくなっており、習熟度別授業や少人数授業を多く取り入れるとよい。

意見 3 : 自己肯定感の低い生徒に対し、よい部分を認め、ほめることが必要である。

意見 4 : 身だしなみ指導に関する課題があったが、授業では体操服の生徒が多数見られた。学校としての指導はどうなっているのか教えてほしい。
⇒暑さ対策ということで、体操服での登校や授業への出席を認めている。

意見 5 : 中学校では暑さ指数 (WBGT) により部活動等が制限されてるが、高校ではどうなっているのか教えてほしい。
⇒高校でも授業や部活動のはじめと中間で暑さ指数を測定しており、WBGT値が31度以上なら活動を中止するなど、中学校と同様の対応をしている。

意見 6 : ふるさと教育は大切な取り組みである。積極的にやりたいことを見つけて取り組んで発表するという過程で、考える力やコミュニケーション力、わかりやすく説明し発信する力など総合的な能力が身についていく。

意見 7 : 探究活動が直接的に教科の学習につながらなくても、将来的には意味のあるものになる。

意見 8 : 生徒の課題について、なぜそれが改善されるべきかを見える化する方法を考えていくことが大切である。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の教育指導の重点及び学校経営計画について承認が得られた。
- ・本日、委員の皆様から得たご意見を踏まえ、本校の社会的な役割や目指すべき学校像を取り入れたスクールミッション (案) を第2回学校運営委員会で提案し、ご意見を伺う。